

科目名	現代政治理解		
教員名	中村 哲		
授業種別	週間授業	授業形態	講義
開講間隔	週 1 回	単位数	2
履修年次	1	学期	2020 年度 後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の基本原則と日本の国家的性格の理解を踏まえて、国際社会の動向と国際社会における日本の役割に関心を高め、平和で民主的な国際社会の実現に寄与する態度を形成する。 ・日本と国際社会の特性と課題を歴史、経済、政治、文化の視点を踏まえて理解する。 ・日本と国際社会の課題に対する原因や対策を資料活用によって調査し、発表する。 ・国際社会の課題と対策に対する日本の役割を考察する。 		
授業概要	日本と国際社会の動向と課題について理解し、各自の問題関心の課題と対策について調査し、発表する。		
授業計画	第 1 回 授業に関するオリエンテーション 第 2 回 民主政治の基本原則と日本の国家的性格 第 3 回 日本国憲法に基づく民主政治の機構 第 4 回 国際社会と日本社会の動向に関する調査方法 第 5 回 現代日本の様々な課題 第 6 回 現代日本の人口減少の課題と対策 第 7 回 現代日本の地域社会の課題と対策 第 8 回 現代日本の就業状況の課題と対策 第 9 回 国際社会の様々な課題 第 10 回 国際社会の地球・環境の課題と対策 第 11 回 国際社会の資源・エネルギーの課題と対策 第 12 回 国際社会の教育の課題と対策 第 13 回 国際社会の軍縮・平和の課題と対策 第 14 回 国際社会の様々な課題の調査内容の発表と評価 第 15 回 国際社会の様々な課題の調査内容の発表と評価		
授業方法	講義、調査、発表、討議などにより行う。		
アクティブ ラーニング の視点	現代の日本社会と国際社会における課題設定、課題に関する現状と原因の調査、課題と対策の調査内容の発表と討論、課題に関する調査内容と課題に関する対応策のレポート作成。		
授業外学習	現代の国際社会における課題設定、課題に関する現状と原因の調査、課題の調査内容の発表と討論、課題に関する調査内容と課題に関する対応策のレポート作成。		
教科書	なし		
参考書	日本社会と国際社会の課題と対策の調査と調査報告内容の作成に関連する資料等を紹介する。		
評価方法	成績については、授業への参加度と授業態度 (40%)、授業での考察と発表の報告内容 (30%)、最終課題の調査報告内容 (30%) に基づいて評価する。		
既修条件	なし		
実務経験のある教員による授業			